

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第2回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成29年7月27日(木) 14時30分 開会 16時30分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ会議室1
出 席 者 氏 名	【本部会議委員】 横山委員、山野寺委員、石川委員、信太委員、田村委員、佐々木委員、 村田委員、青砥委員、水島委員、土門委員
欠 席 者 氏 名	
事務局職員職氏名	広島総務部長、森久保計画担当主査、
議 題	1 委嘱状交付 2 副町長挨拶 3 会長、副会長互選 4 美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について 5 基本戦略ごとの数値目標・KPIについて 6 今後について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名
会 議 資 料 の 名 称	・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・まち・ひと・しごと総合戦略 基本目標・KPI
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☒ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	お忙しい中ご参集いただき誠にありがとうございます。ただ今より、平成２９年度第２回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催させていただきます。進行させていただきます総務部長の広島です。 この度、美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。この委員会につきましては、第２期の創生推進委員会となりまして、条例によりこの会の定数は１０名以内となっておりまして、ちょうど定数のちょうど定数の１０名の皆様方で構成されています。この推進委員会の役割や推進内容などにつきましては、事前に担当の者からご説明申し上げておりますので、省略させていただきます。 それでは、委嘱状の交付をさせていただきます。本来、土谷町長が行う予定でしたが、他の公務で上京していますので、代わって平井副町長より委嘱状を交付させていただきます。お名前を呼び上げますので、恐縮ですがその場にご起立をお願いします。
平井副町長	<委嘱状交付> 美幌町農業協同組合 総合企画推進室長 山野寺 秀紀 様 美幌町森林組合 代表理事専務 石川 茂雄 様 美幌商工会議所 専務理事 横山 清美 様 美幌観光物産協会 事務局長 信太 真人 様 北海道美幌高等学校 校長 田村 弘樹 様 網走信用金庫美幌支店 支店長 佐々木 天洋 様 美幌地区連合会 特別執行委員 村田 純一 様 北海道新聞社北見支社 営業部次長 青砥 俊之 様 一般公募 水島 純子 様 一般公募 土門 真由美 様
広島総務部長	任期となります今後２年間、どうぞよろしく申し上げます。 続きまして、平井副町長よりご挨拶申し上げます。
平井副町長	本日はご多忙の中、またお暑い中、第２回目となります美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。第２期の初回ということで、１０名の方に委嘱状を交付させていただきました。そのうち８名の方は前期に引き続いてということ、２名の方は新たにということで、委員をお引き受けいただきまして、重ねて御礼を申し上げます。 この委員の役割や推進内容は担当の者から説明がいつているとのことですが、我が国を取り巻く、そして管内の状況などをお話しさせていただきます。 美幌町の人口は、ピーク時には２万８千人いた人口が、現在は２万人ということで、減少し続けております。また、非常にショッキングな数字としましては、社会人口保障研究所の人口推計では、２０４０年には約１万４千人になるだろうという数字を公表しています。まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するに当たって、人口ビジョンを作成し、その中で人口推計を行いました。社人研の推計に対して疑問符を持っておりまして、自然増減、社会増減をこれまでの実績からいくともっと下がるのではないかと懸念していましたが、正にこのままの勢いで進むと、１万２千人弱になるという結果が出ました。これは、対策を何もしないでいると、このような数字になるというものです。ではどうしたらいいかと、どういった目標

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	を持つかということで、人口ビジョンにおいて、総合戦略及びアクションプランでの事業・対策によって1万4千5百人に食い止めたいとしています。平成28年度には、第6期美幌町総合計画を立てましたが、その計画期間は10年で、平成38年には、この人口ビジョンの推計に基づき、人口を1万8千人としたところであります。7月は官公庁、自衛隊の異動時期ということで、既に転出届が出されている状況で、転入は8月に入ってから出されるだろうということで、3月にも同じような状況でありました。そのため、3月の人口は一番落ち込むときなのですが、その時の人口がちょうど2万人でありました。今の動きは少ないのですが、微減している状況でして、昨日の人口は3月末と同数の2万人というのが美幌町の現状です。 本日の北海道新聞の朝刊に出ていましたが、昨年の1月1日と今年の1月1日の管内の人口推移が出ていました。これもまたショッキングな話で、2年ぶりに管内の全市町村で減少となっている状況です。管内の一番大きなまちである北見市ですら、減少してしまっている。1年間で約4千人減っている状況にあります。さらに、今回は5年ぶりに、自然減と社会減がどちらも起こっている状況で、どちらも歯止めが掛かっていないということでもあります。全国的に地方創生の事業に取り組んだばかりといえばかりでして、その効果がまだ出てきていないというのが実態です。一例として、北見市は4年連続で人口減と出ています。12万人の都市ですが、年間1千人の減ということで、大変大きな数字です。人口減少の流れはなかなか止めることが難しいという担当者のコメントも入っています。北見市は、この減少率を何とか縮めたいということで、テレワークなどにより若者が仕事しやすい環境、結婚や子育てをしやすい環境を整える事業を展開するとしています。 こうした人口減少は、産業面においても経済面においてもあらゆる面において影響が大きいわけであります。地域社会の基盤の維持が困難になってくることはいうまでもないことです。すでに、あらゆる分野において人材不足が出てきています。別の記事では、人手不足が原因の倒産が多くなってきているというもので、昨年の10月から今年6月までの半年間で、人手不足を理由とした倒産が全国で50件ほどあるとのこと。4年間で約3倍になっているそうです。特に、中小企業の経営を圧迫しているとのことで、大きな企業は給与を上げて人を逃がさないなどの対策がとれますが、中小企業は経営規模が小さいわけで、そうしたことをしては赤字になり経営が難しい。そして給与が良い大企業に流れてしまうわけです。これと同じことが、地方と都市で起きているのが現状です。倒産は東京が一番多くて、次に福岡県、北海道は大阪と並んで3位となっています。大阪と並んで北海道の倒産が多いということは、非常に危機感を持たなければならないと思っています。業種としては、建設業、サービス業、そして非常に気になるのが、福祉関連企業。超高齢社会に入っているわけですが、その福祉の現場で人材不足が起きていると聞いておりますが、もっともっと進んでいくと、福祉事業所がなくなってしまう、人手不足で倒産してしまうということになりかねない。そうすると利用者はどうすればいいのか、これは大変な問題になってきます。まだまだ高齢者は増えてきますので、サービスの低下は許されないことではありますが、すでにそうしたことは始まっているということ、皆さまも認知していただければと思います。 そうした中で、地域が地域でいられる社会を、アクションプランにおける事業を展開していくことで支えていく。皆さまにおかれましては、それに対して効果検証をしていただき、効果が表れていないのであれば、何故

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	表れていないのか、どうやったら効果が表れるのか、意見をどんどん言っていただき、人口減少に歯止めをかけたいと思っています。一方で、日本全体の人口が減っている中で、都市において人口を増やすということが難しいということで、地方創生ということで、地方からその役割を担ってもらいたいということですが、根本的なことというのは、地方独自では難しいものです。やはり国の政策として、全国の市町村の底上げが図れるような国策をやってもらわないと、日本の人口は現在１億２千万人程おりますけれども、将来的には８千万人台まで落ち込むと推計されています。５０年間で４千万人減るということですが、１００年後、２００年後には日本人が限りなく少なくなってしまうということになります。非常に危機的な状況ですし、諸外国から注目されている日本の文化、伝統、人柄を守っていくことは、世界を守ることになると思います。そうした国のやるべきことについては、皆さまからの声を聞いて、我々は地方自治体として都道府県と連携しながら国と協議をし、その声をしっかり届けていかなければならないと思っています。地方でやるべきところはきちっとやり、意見を述べるとことはきちんと伝えていく。皆さまにおかれましても、そうした観点から、非常に難題ではありますが、効果が出るというものも難しいものではありますが、何もしないと何も始まりませんので、小さなことから一つ一つ実践して進めて参りたいと思いますし、自治体を超えた大きなことは、しっかりと国政に届けていきたいと思っていますので、２年間という短い任期ではありますが、こうしたことはこれからも続いていきますので、将来を見込んだ中で、ご意見を賜っていききたいと思っています。お願いばかりで申し訳ありませんけれども、これからの委員会において積極的な意見を賜りますようお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。皆さまどうぞよろしくお願いします。 それでは、次第の会長・副会長の互選に入る前に、事務局のご紹介をさせていただきます。 ＜事務局紹介＞ 総務部長 広島 学 政策主幹 小室 秀隆（本日欠席） 計画担当主査 森久保 舞子
広島総務部長	本日第２期目の初めての委員会ということで、初めて顔を合わせる委員の方もいらっしゃると思いますので、一言ずつ自己紹介をお願いします。 ＜委員自己紹介＞ 美幌町農業協同組合 総合企画推進室長 山野寺 秀紀（継続） 美幌町森林組合 代表理事専務 石川 茂雄（継続） 美幌商工会議所 専務理事 横山 清美（継続） 美幌観光物産協会 事務局長 信太 真人（継続） 北海道美幌高等学校 校長 田村 弘樹（継続） 網走信用金庫美幌支店 支店長 佐々木 天洋（継続） 美幌地区連合会 特別執行委員 村田 純一（継続） 北海道新聞社北見支社 営業部次長 青砥 俊之（新規） 一般公募 水島 純子（継続） 一般公募 土門 真由美（新規）

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	次第に戻りまして、会長・副会長の互選に入りたいと思います。まずはこの委員会の会長を決めていきます。会長につきましては、この会を総務し、この会の議長となると定められています。任期につきましては、委員の任期と同じです。会長の選任につきましては、美幌町附属機関条例に基づきまして、委員の互選によって行うとされていますので、推薦や立候補などありましたら、ご発言をお願いしたいと思います。
信太委員	はい、前期に引き続き、横山専務に会長をしていただきたいと思いますですが、いかがでしょうか。
広島総務部長	いま、信太委員から横山委員を推薦する声がありましたので、皆さまよろしいでしょうか。 (一同異議なし) それでは、引き続き横山委員に会長をお願いします。よろしくお願ひします。次に、副会長の選任でございます。横山会長、どなたか推薦はございますか。
横山会長	では、前期に引き続き、水島さんに副会長をお願いしたいと思います。皆さまどうでしょうか。 (一同異議なし)
広島総務部長	水島委員よろしいでしょうか。それでは副会長につきましても、引き続き水島委員をお願いしたいと思います。 それでは、会長に横山委員、副会長に水島委員で決定させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。 就任されましたので、会長、副会長から一言ずつ挨拶をお願いします。
横山会長	先ほど、会長にご推薦いただきました、改めまして商工会議所の横山と申します。第1期に引き続きまして、先ほど副町長のお言葉にもありましたように、ボリュームがたくさんございます。様々な形で忌憚のない意見を引き出しまして、何とか人口減少に歯止めをかけていけるような形に持っていきたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いします。
水島副会長	前期に引き続き、副会長をやらせていただきます水島です。会長のサポートをさせていただくのはもちろんなのですが、会長の横で忌憚のない意見を皆さまが言えるように笑顔でいたいと思います。よろしくお願ひします。
広島総務部長	ありがとうございました。 大変恐縮ではございますが、ここで副町長は他の業務のため退席させていただきますので、よろしくお願いします。
平井副町長	皆さま、よろしくお願いします。失礼いたします。 (退出)
広島総務部長	それでは、レジュメに従いまして進めていきますが、議事進行につきま

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	しては、先ほど選任されました横山会長にお願いしたいと思います。会長、副会長については、席の移動をお願いします。 早速議事に入らせていただきます。皆さま、ざっくばらんな意見を出していただきたいと思います。よろしくお願いします。 事前に資料が配付されておりまして、ボリュームもありますので、事務局から美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について説明をお願いします。
森久保計画担当主査	皆さま、第2期ということで、第1期から引き続きの方、また初めて委員になられた方、どうぞよろしくお願いします。 さっそく効果検証に入らせていただきます。皆さまに事前にお配りしたA3版資料をごらんいただき、推進委員の皆さまには、⑨「外部有識者からの評価」をしていただくことになります。評価方法ですが、事前にお渡ししているA4版の「美幌版総合戦略の効果検証方法等について」の1の（3）にあるように、まず、⑨欄の左側の「事業の評価」を3択から選んでいただくことになります。この選択項目は、⑤欄の担当部署が自己評価した内容と同じ項目になっています。まずは実績や評価理由、実績値の内容などについて、ご意見やご質問をいただき、担当部署が評価したものに意義がないかどうか、委員会として1つの結論を出して、更にその上で意見や提案、改善点などがあれば、⑨欄の「外部有機者からの意見」としてまとめていきます。こうしたことで、委員の皆さまからの審査をいただいて、担当部署に伝えていき、少しずつ良いものをしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。 基本戦略1の1番目、「新規就農者確保・育成等支援事業」ですが、これは最初は1つの大きな事業としていました。ナンバー1が3つありますが、それぞれ赤字で「農業経営者育成事業」「農家青年配偶者対策事業」「農業振興事業」、これを1つの事業にしていたものを、評価や指標が分かりづらいことから、3つに分けました。 一番上にある、農業経営者育成事業につきましては、農業後継者や新規就農者の技術向上、育成の事業となっています。28年度の実績額としては、約5,536千円。指標は新規就農研修生と冬期農業講座受講者数を設定しています。実績値としては、新規就農者数は現在1名いて、等機能農業講座受講者数は64名の実績があったとのことです。これをうけまして、担当課としては、指標値を達成し事業効果があつた評価しています。評価理由としましては、新規就農は経営継承方式ということで、その離農する農家さんの跡地に入るために、現在一生懸命研修を受けている最中とのことです。冬期農業講座受講者数については、講座内容の充実が図られたため、昨年の25名から64名と大幅に増加したとのことです。今後の方針として、事業の継続ということで、更に強化をしていくとしています。以上です。
横山会長	今ご説明のありました「農業経営者育成事業」について、皆さまから評価並びに意見をいただきたいと思います。
森久保計画担当主査	すいません、まずは担当課の⑤の評価に意義がないかどうかを決めていただき、その後に意見をいただくということでどうでしょうか。
横山会長	そちらの方がよろしいですか。では、効果の評価から決めていきたいと

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	思います。担当課では、指標値を達成し効果があつたとしておりまして、①～③の選択の中からこれについて反対の意見があればお願いします。なければ、①の効果があつたということにしたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。 （異議なし） では、①の指標値を達成し効果があつたとさせていただきます。次に意見はございますか。 受講生が25名から64名になったということですが、受講生は皆さん農業後継者ということでしょうか。
森久保計画担当主査	そうですね、農業後継者だけでなく、従事している方も入っていると思います。
田村委員	美幌高校の農業科の生徒も、これに受講させていただいています。
横山会長	農業に関係していない人でも、受講することは可能なのでしょうかね。いま、美高生が受講していることから見ると、一般の方も興味がある人は参加できるのでしょうか。
広島総務部長	拒否する理由はないですね。
横山会長	そうですね。そうするとまだまだこの分野には可能性があるということですね。
広島総務部長	ただ、専門的な内容になろうかと思います。みなくるファームの方たちを対象とするような内容ではないと思います。
田村委員	メニューがいくつかに分かれているんですよ。生徒も全てのコースを受講しているわけではなくて、いくつか選択して受講しています。
横山会長	はい、1番はこれでよろしいでしょうか。では、次をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「農家青年配偶者対策事業」ということで、みらい農業センターでは、女性農業実習生を積極的に受け入れていまして、農業体験を通した農家青年との交流の場を設定して、農家青年の成婚向上を図る事業となっています。28年度の実績額が約6,719千円。指標値としては、女性に限定した農業体験実習生を3名と設定していましたが、実績としては4名の実績となりました。そのため、評価としては指標値を達成し効果があつたとしております。この体験実習生と農家青年との交流は図られたのですが、交際には至らなかったということです。ただ、27年度においては、実習生のうち交際に発展した実績がありますので、これは効果が見込めるものでありますので、その効果は高いということで、この評価としています。⑩の今後の方針としては、事業の継続を選択していて、事業を続けることで、交流の場を提供し成婚率の向上を図るとしています。
横山会長	今の説明で、指標値は実習生3名が、実績値では4名となったということで、事業効果があつたという評価をしております。皆さまにおかれまし

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	ても、同様の評価でよろしいでしょうか。 （異議なし） では、評価としましては、指標値を達成し事業効果があつたとさせていただきます。
村田委員	質問です。評価理由のところに、1名が実習終了後移住を果たしたとありますが、この方はどのようなことで来たのですか。
森久保計画担当主査	はい、この1名の方ですが、27年度に体験実習をした女性で、農家青年との交流において仲良くなりまして、交際に発展し、今年の6月にご結婚されました。
横山会長	私の知っている人でもありまして、6月に結婚をして農業に従事しております。そういう面で、プラスの効果、さらにこれからの人口増につながる部分がありますので、非常に効果があつたと言えます。他にご意見ございますか。よろしければ次をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、次は農業振興事業ということで、独自性と有益性を兼ね備えた作物や新たな栽培技術を、農家さんに広めていくことを目的として研究・調査する事業です。今は主に、伏せ込みアスパラガス栽培、いわゆる「冬姫」と呼ばれる冬期に出荷されるアスパラの栽培に取り組んでいまして、その生産戸数の増加を目指しています。28年度の実績額は、10,473千円で、指標値としては栽培農家戸数6戸を設定していたところ、実績としては7戸となっています。評価としては、指標値を達成し事業効果があつたとしています。評価理由としては、全国で唯一の11月初旬出荷のアスパラガス冬期栽培ということで、非常に珍しいもので、その希少価値が高く評価され、破格の価格で流通しています。7戸というのは少なく感じるかもしれませんが、道内の産地の中では最多となっています。今後の方針としては、もちろん事業の継続ということで、これからも更なるブランド向上を下支えするということです。以上です。
横山会長	今の説明にありましたように、指標値を上回っており事業効果がたつとしていますので、委員会としても同様の評価として問題ないでしょうか。 （異議なし） はい、ありがとうございます。 美幌高校でも、確か伏せ込みアスパラに取り組始めたと聞いていますが。
田村委員	はい、取り組んでおります。もっともっと充実させていきたいと思っています。この新規就農者確保・育成対策事業の①～③は全て連動していまして、経営移譲などにおいても収益作物は考えていかなければならないと思っています。
横山会長	この「冬姫」というのは非常に希少性が高く、都会に出せばキロ何千円の値が付くものです。通常よりは非常に高値で売り出されていました、札幌で売られています。この会議の前に伏せ込みアスパラについてお話しす

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
青砥委員	ることがあったのですが、これを1つの美幌のブランド化を更に進めていけば、田村委員の言われたことが更に推進されていくのではないかと思います。引き続き、高校含めて推進してもらいたいと思います。
山野寺委員	この「冬姫」の流通は主にどこなのでしょう。 実際に販売しているのは道内です。札幌と北見ですね。ちょうどこの「冬姫」販売の売り込みは私が担当だったのですが、伏せ込み栽培の方法を知ってもらうのに時間が掛かる。まったく異なる作り方なので、実際にプレゼンしに行って、その価値などを理解してもらったのが札幌だったということです。普通のアスパラの倍以上の値段を付けていただいたのがスタートで、東京にも売り込みをかけたのですが、特別感を出すには時間が掛かることから、認めていただけたのが札幌でした。
横山会長	これに関係ないかもしれませんが、外国人受入について山野寺室長の方から説明をお願いしますか。こういうことをJAで行っているという周知も含めてお願いしたいと思います。
山野寺委員	国の制度で、外国人技能実習生というものがあって、外国の方が日本の技術を学ぶというものです。今年の7月から4名のベトナム人女性を受け入れています。来年も4名、3年目も4名と、最大で12名の受入を計画しています。美幌町で行っている農業の技術を勉強していただいて、3年後にはベトナムに持ち帰って、普及させていくという内容です。農協で受入が出来るようになったのは今年からです。JA小清水では3月から受入を行っていますが、それまでは直接農家に入る研修生という事例は昔からあったのですが、農協で受け入れられるようになったのは、法改正が行われた今年からです。当農協は2番目の事例です。今は、ニンジン選果場の選別作業を行ってもらっています。 昨年10月に面接をして来てもらう方を決めていたのですが、その時から既に日本語の勉強をされていました。今年7月に来た時点で、日常的な会話は出来ている状況で、きちっとした挨拶も出来ていて、逆に見習わなければならないぐらいです。スタートしたばかりですが、JA美幌内部では受け入れて良かったという評価となっていますし、副町長の挨拶にもありましたが、今後労働力不足になってくるのは間違いのないことでして、今まで以上に深刻になってきます。実習生なので労働力と捉えるのは良くないのですが、その準備としてこの制度を根付かせたいと思っています。
横山会長	たまたま聞きまして、この間コンビニに行ったときに、その女性たちと山野寺室長とお会いしまして、丁寧な日本語で、会ったときの挨拶と帰るときにも挨拶をして、とても素晴らしい人材が来ていました。いい制度だなと思いましたので、せっかくだから皆さんにも知っていただきたいと思いましたので、お話ししていただきました。
村田委員	なぜベトナムの方なのですか。
山野寺委員	中国からの研修生受入は古くから行われていたのですが、中国の景気の影響により日本に来てくれる方が減ったということと、ベトナムの景気が良くなって、また大変な親日国で第2外国語が日本語なのですが、そうしたつながりの中で、中国が駄目ならフィリピンとかベトナムといった流れ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保計画担当主査	で受け入れる国が変わっていきまして、さらに国民性として日本人によく似て勤勉ということで、受け入れたところからの評判が良いことから、美幌でもベトナム人の受入を決めました。
山野寺委員	日本語は自分たちで勉強しているのですか。
横山会長	いえ、向こうにいるときに学校に入っています。1年間学校で学んで、学ぶのは日本語だけでなく、規律とか挨拶とか日本人の考え方とか、そういったものを学んでから来ていただいています。
森久保計画担当主査	はい、次に「地域しごと支援事業」ということで、経営継承している農家子弟と農外から就農する新規就農者に対して金銭的な支援を行うものとなっています。平成28年度の実績額は916万円ほど。新規就農者数と新規農業従事者数合わせて3名を目標にしていたのですが、28年度の実績値は9名と大幅に目標を達成しています。事業効果としましては、指標値を達成し事業効果があつたとしています。事業費の総額の内訳ですが、⑦にあるとおりです。9名の内訳ですが、全て新規農業従事者となっていて、学卒者5名、Uターン者4名となっています。今後は、事業の継続として支援をしていくとなっています。以上です。
横山会長	説明にもありましたように、当初の目標より大幅に上回っていますので、担当部局としては事業効果があつたという評価をしています。外部有識者からの評価としましても、同じ評価としたいと思いますが、よろしいですか。 (異議なし) では意見はございますか。よろしければ次の説明をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「森林認証材活用促進事業」についてです。美幌町はFSC森林認証を取得しているのですが、これの付加価値促進を図るため、認証材買取時に上乗せを行って、認証の普及促進を図る事業となっています。28年度の実績額は約192万円。認証材の生産量を指標としています。目標は5,800m ³ だったのですが、実績は4,398m ³ に留まるという結果でした。それを受けて評価としては、指標値は下回ったものの事業効果はある（見込める）としています。下回った理由が⑥に記載されていて、住宅供給のために計画的及び使用量調整を行って算出したため、指標値を下回ったとのことでした。計画的な伐採をしていかなければならないので、目標通りにはいかないということです。今後の方針としましては、事業の継続となっていて、これからも上乗せ補助を行い、認証材の普及を図るとともに、森林認証の区域を拡大していくとしています。以上です。
横山会長	石川専務から補足することはございますか。
石川委員	町内の伐採量の制限がありまして、過去に大量に伐採されたことがあつたものですから、現在伐採が調整されています。そのため、約半分は、外国材に頼らざるを得ない状況です。そうした計画伐採が上手くいかない部分もあつて、それがこの事業にも影響が出て、生産量が下回ったのだと思

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石川委員	います。
横山会長	ありがとうございます。それでは、皆さまの評価並びに意見をいただきたいともいます。担当としては、効果はあったんだけど指標値は下回ったということで、②を選択しています。皆さまからの評価につきましては、同様でよいか、ご意見含めてお聞きしたいと思います。 ②という形になりますかね。 （異議なし） いま、住宅材だけでなく、様々な形で認証材が使われた製品が作られていますので、更に認証材の知名度が上がっていくことは間違いないと思いますので、そういったことも含めて、②ということにさせていただきます。では次をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、4番目、「美幌町産材活用促進事業」について、こちらもF S C森林認証の利用促進が目的でして、町内の住宅に使用した場合に補助するものとなっています。28年度の実績額は828万円。指標は2つ建てていまして、建築住宅戸数10棟と森林認証材使用量212m³としていまして、実績値は住宅戸数は10棟、認証材使用量212m³ということで指標値と全く同じ数値となっています。間違いではないのかと担当部署に聞いたのですが、これが正しい数字ということでピッタリ同じだったそうです。これを受けて、評価としては指標値を達成し事業効果はあったとしています。評価理由としてまして、全体の住宅戸数が減少しとありますとおり、27年度はその全体のうちこの補助制度を使って建てた住宅は17棟あったのですが、28年度は10棟となりました。しかし、全体の棟数のうち65%は認証材を使用した住宅とのことで、事業効果はあったとしております。今後の方針としましては、事業の継続として、美幌町産材を使った住宅を増やしていくため、補助を行って一般の人にも普及を図っていくという方向性になっています。以上です。
横山会長	はい、目標値と実績値がピッタリ同じということで、その右側にあるように、全体の棟数のうち65%は認証材を使用した住宅であったということから、いい効果があったと捉えたいと思いますので、皆さまの評価としましても、担当部署と同じ①にさせていただいてよろしいでしょうか。 （異議なし） はい、ありがとうございます。続いてお願いします。
森久保計画担当主査	次の5の事業ですが、これは前回評価していただきましたので、飛ばしまして、次のページをお願いします。6番目「はじめての木づかい事業」。これは美幌町に在住している1歳を迎えるお子さんを対象に、F S C森林認証材を使った木のおもちゃや食器をプレゼントするものとなっています。28年度の実績額は約60万4千円。目標としては木製品贈呈数を140人と設定していましたが、実績は112人に留まりました。それを受けまして評価としては、指標値を下回ったものの効果はあったとしています。理由としましては、子どもの数を指標値としていますので、どうしても全体の数が減ってしまっていることから数としては下回りましたが、大変喜ばれていることから、事業効果はあったと評価しています。今後の方針としては、事業内容を見直し発展させるとしています。今4つのおもちゃ又は食器から選べることになっているのですが、もう少し範囲を広げたいという考えを持っているようで、認証材を加工できる工房、先ほど横山

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	会長が言った松下工芸さんがそうなのですが、今年の5月か6月くらいに、もう1つ、新たに認証材が扱える工房が増えましたので、そういうこともあって発展させるとしています。以上です。 はい、目標値を下回ったということですが、これについては子どもの数という非常に難しい指標となっていますので、このような評価となりましたが、子どもに対するプレゼントということで認証材の普及にもなりますし、効果はあったと思います。さらに、先ほど説明のあったように、更なる認証材を扱える工房が増えたということであれば、さらに種類も増えて子どもたちが選択するものが広がるということもありますので、皆さまの評価につきましても、担当部署と同じ②の評価にさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 （異議なし） それでは、②にさせていただきたいと思います。
森久保計画担当主査	水島委員や土門委員は、お子さんが1歳だったときに、例えばこういったおもちゃがあったら良かったとか、そういったものはありますか。担当部署に参考として伝えていきますので。今の木製品は、つみきセット、車のパズルセット、釣りぼりセット、茶碗などの食器セットとなっています。
土門委員	小さいときには輪投げがありましたね。キリンを模したもので、1歳のプレゼントとして興部町でやっていたと思います。
石川委員	今ですね、新しい商品開発ということで、幼児用のデスクを出来ないかと考えています。これはコアドライのハネ材を使用して、足の短い、幼児が食事とか遊びとかするための机とイスのセットの開発を考えています。そうしたらこれに入れていただきたいと思いますね。
横山会長	信太局長、「きてらす」に様々なおもちゃがありますが、一番人気はなんですか。
信太委員	この間入ったばかりのオセロが大人気で、常時使われております。
村田委員	おもちゃとかだと大人になったら使わなくなってしまうので、写真のフレームとか、例えば1歳の時の写真を入れてその子が大きくなってから渡すことが出来るような、そういったものであれば将来的に残るのでいいのではないかなと思います。
森久保計画担当主査	なるほど、皆さまありがとうございます。写真入れであれば、親御さんは飾りますよね。
横山会長	皆さま貴重なご意見ありがとうございます。今意見のあったようなおもちゃや、後に残るような製品があればいいなと思いますので、よろしくお願いします。では、次をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「林業館管理事業」です。きてらすのところですが、その維持管理の事業となっています。事業費としては約3百9万8千円。指標値は来館者数を設定しています。目標値は2万5千人を設定していたところ、実績はそれを大幅に上回る29,638人となっています。それを受けまして、

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	事業効果としては指標値を達成し効果があったとしております。平成27年度に林業館をリニューアルしてから大人気となっておりまして、町内だけでなく町外からの来館者も多く、認知が進んだのかなと思っています。今後の方針としましては、事業の継続ということで、来館者の把握及びニーズを収集し、より安心安全な木育広場を提供できるように維持管理を発展させるとしています。以上です。
横山会長	指定管理を受けている観光物産協会の信太局長から補足等ありましたらお願いします。
信太委員	はい、指定管理を受けて観光物産協会でも維持管理をしています。2階の安全面についても、安心安全な施設として使ってもらえるように努めているところです。この来館者数に表れていますように、毎日親子連れで賑わっておりますので、今後も耕地林務と連携しながら、様々な遊具を提供しリニューアルを図れるようにしていきたいと思っています。また、美幌駅は無人駅ですが、1階にあるぼっぼ屋も賑わいを見せておりますので、きてらすが出来たことによって色々なところに波及効果が出ていますことを、補足として報告させていただきます。
横山会長	今、事務局並びに信太局長から説明がありましたように、私自身も孫を連れて十二分に活用させていただいていますし、この指標も大幅に数値を上回っておりまして、間違いなく事業効果があったと捉えてよろしいかと思いますので、皆さまの評価もそのように捉えてよろしいでしょうか。 強いて言わせていただくなら、小学中学年高学年、そして中学生になりますと、あの場所では狭いことと、乳幼児との絡みでは難しいのかと感じるところがあります。それに対して何かしらの解消が出来れば、また新たな広がりがあるのではないかと思います。
森久保計画担当主査	逆質問で申し訳ありませんが、小学3、4年生や高学年の子たちは結構いるのでしょうか。
信太委員	そうですね。結構いらっしゃいます。やはりそれくらいの子どもと幼児では遊び方が異なりますので、衝突などの危険性があります。原則的には保護者同伴が原則ですが、なかなかその規制が行き届かない。耕地林務と連携し、その部分のルールなども作成していますが、夏休みなどになりますと、子どもだけで遊びに来るということもありますので、管理者として走らないなどのアナウンスをしながら、注意を行うようにしています。
村田委員	きてらすが出来前と後で、ぼっぼ屋の売上とはどう変わったのか分かりますか。
信太委員	元々ぼっぼ屋の売上は、年々微増している状況でして、きてらすが出来てから急激に上がったとは言えない状況です。どの程度影響が出ているのかは、もう少し分析が必要かと思います。
横山会長	他、ご意見ございますか。よろしいですか。では次をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、次の「観光振興事業」について、各関係団体と連携を図って、情報発信やイベントを実施するということになっています。28年度事業の

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	実績額は、約 2 6 4 万円。指標は観光入込客数、これは美幌峠の観光入込客数ですけども、8 1 万人を設定していましたが、実績値としては、それを結構下回る 7 1 万 2, 9 3 0 人という結果になっています。事業効果としましては、指標値を下回ったが事業効果はあったとしています。評価理由は、平成 2 8 年度は皆さまご承知のように、道東を襲った台風の影響があった、3 つの大型台風により客数が下がってしまったということになっています。しかし、その中でもだんだん認知度が上がってきた美幌峠の雲海などのイベントとか、夜に音楽を聴きながら星空や食事を楽しむなどの工夫を凝らしたイベントを、各関係団体と連携して実施していることから、効果はあったとしています。今後の展開として、事業内容を見直し発展させるとしていますが、2 9 年度から国の事業が始まりますので、それを踏まえて事業内容を見直し発展させるとしています。以上です。
横山会長	はい、こちらについても信太局長から補足をお願いします。
信太委員	はい、事務局の説明にもありましたように、役場、商工会議所、観光物産協会が連携し、美幌峠でのイベントを強化し魅力を発信しながらやってきたのですが、この 7 1 万人という数字は、今月振興局から発表された数字ですが、非常にショックな数字でした。平成 2 5 年に、7 1 万 7 千人から 2 6, 2 7 年度増え続けていた状況だったんですよね。開発局が選んだ景観 1 位になったりとか、じゃらんでの道の駅満足度 1 位など、自分たちも実感として美幌峠の魅力が伝わっているなと思っていただけに、この数字は大変ショックでした。台風の影響といいますけども、オホーツク全体の観光客の減少が 4 %、美幌に関していえば 1 2 %の減少で、大変差が開いている。美幌は、管内で北見、網走、斜里、大空に続いて、5 位の入込客数なのですが、これは変わりませんが、トップファイブの中でも大空町同じように結構減少していますので、自分たちの知らない何か原因があると思いますので、今マーケティングの事業を行って、対面などでアンケートをとって検証を進めて分析していきたいなと思っています。
横山会長	信太局長が言われましたように、数字的にはショッキングな数字なのですが、これから J A や森林組合も含め、観光まちづくり協議会という 1 つの組織が出来ましたので、美幌峠を含めた更なる観光振興をしていくための体制を整えつつあるので、それらを含めたことを考えますと、事業効果としては②の指標値は下回ったが事業効果はあると、そして今後にも見込めるだろうということで、②とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 （異議なし） はい、ありがとうございます。
村田委員	今度、国立公園の名前に摩周が入りますが、あれで観光客は増えそうな要素はありますか。
信太委員	阿寒国立公園観光協議会というのがあるのですが、1 1 市町で組織して、弟子屈・阿寒においても非常に期待しているところなのですが、環境省としても、どのようにして全国に阿寒・摩周に変わったよ、こういった魅力があるよという手法がまだまだ見えてきていません。記念式典を行うことは決定していて、そこから看板の付け替えなどをしていますが、そこからどこまで盛り上がりを見せるか、関係者としてそこは情報発信の

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	工夫が必要で、考えて行きたいと思っています。 美幌峠から美幌の街中にとっていますが、現状なかなか難しいと思っています。どうしても、向こうから美幌峠に来たら向こうに戻るというパターンが多い。更に摩周が加わったことでその傾向が強くなる懸念がないとも言えないのですが、信太局長をはじめとして様々取り組んでいまして、なんとかそれを美幌の街中まで持ってこられるような方策を考えているところでもありますので、そこに期待していきたいと思っています。それではよろしいでしょうか。次お願いします。
森久保計画担当主査	「空港交通利便性向上事業」ということで、これは女満別空港から美幌駅、美幌博物館、美幌峠に行くバスとなっています。7月から10月の期間限定のバスを走らせている事業です。実績額は76万3千円。指標値は利用者数で400人と設定していたのですが、実績値は384人となっております。それを受けまして、事業効果としては指標値を下回ったものの事業効果はあったとしています。理由としては、観光シーズンにおける台風の影響があったとしています。情報発信にと努めたことによりある程度の効果はあったとしています。今後の方針としては、事業の継続として、周知方法などを改善しつつ利用しやすくなるよう検討するとしています。周知は足りていないのかなと感じています。このバスは美幌峠で弟子屈方面に行くバスと接続する運行となっていますので、周知がもっと進めば、外国の方などに利用が進むのかなと思っています。
横山会長	これも、役場と観光物産協会と商工会議所で協議会を組織して運営して、ホームページなどでPRはしているのですが、なかなか認知向上に至らないところがありまして、問合せはあるのは間違いないのですが、飛行機から乗る時間のタイミングが合わないのは事実なので、そこらへんが阿寒バスとの連携の中で、ある程度の時間変更を協議していくことが課題なのかなと思います。信太局長の方から何かございますか。
信太委員	この事業は長年続けていますが、利用率がなかなか上がらないというところがあります。マイカー利用が多いというバックグラウンドは多いは確かなのですが、公共交通機関で峠に行ける唯一のルートでありますので、これがなくなると、タクシーで7、8千円払わなければならない。そうしたことから、時間のタイミングはありますが、PRの工夫は必要かなと感じています。
横山会長	それでは、皆さまからの評価としては、人数的には下回っていますが、効果はあったと思いますので、②とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 （異議なし） それでは続いてお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「まちのセールスマン事業」ですが、これはミニPR名刺のことで、美幌町の景観や公共施設、特産品などを掲載したミニPR名刺を作成しまして、美幌町民が町外・道外で名刺を配る際に活用して、住民一人一人がセールスマンとなるようなことを目的としています。実績額は約45万円、指標値は町民配付数2万枚として予算確保もしたのですが、実際に配付された枚数は9,610枚となっております。これを受けて事業効果

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	としては、指標値は下回ったものの事業効果はあったとしております。配付希望者の内訳ですが、町職員１２名、議員の方４名、会社の方９件、個人で２１名となっていて、会社や個人の方の割合が多く、様々な分野において広くＰＲ出来たとなっております。町の職員少ないのではというご指摘があるかと思いますが、職員にはなるべく道外の人と接する機会があるところに使用して欲しいと伝えていましたので、観光とか移住担当の職員に限られてしまったかなと思っています。予算取りとしては、２万枚の予算を確保したのですが、実際に印刷した枚数は１万２千枚です。今後の方針としては、事業の継続として皆さま活用してくださいといった周知を図っていくこととしています。以上です。
横山会長	何かご質問ございますか。
信太委員	配付希望者の内訳で、会社等のところだけ９件と、名ではなく件となっているのは、個人ではなく会社として入手したということですか。
森久保計画担当主査	そうですね。会社として受け取って、各社員の方々に配付したということだと思います。
横山会長	このＰＲ名刺を見たことはありますか。
田村委員	私はもらいに行って活用させていただきました。
佐々木委員	網走でも同じようなものを見かけました。会社だけでなく、私が所属している団体とかでも配付しています。ライオンズクラブ、ロータリークラブの人たちも名刺は必要なわけですから、それを活用して配付しているのは見たことがありますね。そうした人たちは、町外、道外の人たちと接する機会がありますので、この方たちに働きかけていくのもいいと思います。
森久保計画担当主査	なるほど、ありがとうございます。
横山会長	これについても、指標値は下回ったものの、美幌町のＰＲということについては、効果はあったと思いますし、支店長がおっしゃったように、各団体に働きかけることにより、更なる事業効果が見込まれるといったことがありますので、②の評価にさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 （異議なし） ここで会議時間が長時間となっておりますが、この基本戦略１までは終わらせたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、１２番の事業をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「広域連携交流推進事業」ですが、平成２８年度から始まった事業で、１つはオホーツク１５町村と東京都江東区が連携して、何かをしようとしてスタートさせたところです。もう１つは、オホーツク地域が一体となってイメージ戦略をしていく事業となっていて、それらを合わせて広域連携交流推進事業としています。実績額ですが、オホーツク１５町村による連携では、国の交付金を活用したため、予算は掛かっていません。もう１つのイメージ戦略は２８年度は会議のみのためお金はかかっていません。指標値は連携事業取組案件数１件としていまして、実績値としまし

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	では、その江東区との連携が1件となっています。それを受けまして、評価としては事業効果はあったとしています。内容としましては、6月に江東区に行きまして江東区環境フェアにおいて15町村でPRを行いました。更に、今年1月に江東区の職員がオホーツク管内に来て視察研修を行いました。今後の方針として、事業の継続として、管内の市町村と連携し更なる展開を図るとしています。以上です。 評価としては、指標値を達成し効果があったとしていまして、皆さまにおかれましては、同様の評価でよろしいでしょうか。 （異議なし） それでは、次の事業をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「元気な起業家応援事業」ということで、起業家支援事業です。起業に必要な経費を上限200万円まで補助するものです。28年度の実績額は800万円。指標値は起業件数3件としていたところ、実績値は4件の起業となっています。それを受けまして効果があったとしております。その4件ですが、飲食店2軒、焼肉屋とパン屋、家具屋1件、アクセサリ一店1件で、今後も事業を継続するということです。以上です。
横山会長	この新規に起業した方々は、全て町外から美幌に移住されて商売を始めた方です。29年度も新たに3件ほど出来そうですが、副町長のお言葉にもありましたように、働き手がいなくて倒産に追い込まれたという現状も一方でありまして、パン屋が北1丁目に出来ましたが、その隣のピザ屋、更にその隣の携帯電話会社も、働き手がいなくて廃業となっていると。こうしたことを含めて見ますと、効果があったとさせていただきたいと思いますが、皆さまよろしいでしょうか。 （異議なし） はい、では次の事業をお願いします。
森久保計画担当主査	「中小企業企業利子補給等制度のうち新規起業家融資制度」ということで、運転資金2千万円まで、整備資金3千万円までの融資を実施し、利子補給20%、保証料100%を補助する事業となっています。指標は融資件数2件と設定しましたが、実績値はゼロとなっています。昨年も同様にゼロだったのですが、評価としては、指標値を下回ったものの効果はあった、見込めるとしています。事業効果はなかったのではという疑問があると思いますが、融資はなかったのですが、当該制度を維持することによって新規起業家への後押しが図られることから、⑩の今後の方針にあるように、事業の継続としてこの制度を維持していきたいとしています。以上です。
横山会長	はい、この件につきまして、佐々木支店長から何か補足をいただければと思います。
佐々木委員	起業するに当たって、13番の元気な起業家応援事業と合わせての考え方で、この2つを合わせて、起業していく人を支援していきましょうという考え方でいいのではないかと思います。この融資制度は運転資金2千万円が用意されていることは、非常に使い勝手がいいのではないかなと思います。今後、この町で大きな事業を行いたいといった場合、補助金では補いきれない部分が出てくると思います。そういった時に、この制度がある

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	と、町に産業を呼び込むことについてプラスなことではないかなと思います。
横山会長	ありがとうございます。支店長からのお話にもありましたように、実績としてはゼロではありますが、事業としてはなくてはならない制度だと思いますので、指標値を下回っていますが、今後においてこれがあることによる効果が期待できることから、見込めるということで②の評価にさせていただきますと思います。よろしいですか。 （異議なし） はい、それでは１５番目の事業をお願いします。
森久保計画担当主査	「がんばる商店街応援事業」ということで、店舗リフォームのための事業です。上限は１００万円で、実績額は１，９１５万円でリフォーム件数を２０軒としていたのですが、上回りました実績値は２７軒となっています。これを受けまして、事業効果はあったとしています。実績値の内容を⑧の欄に出ておりまして、リフォームした業種が出ております。今後の方針ですが、これはとても需要のある事業ということで、今後も継続していくとしています。
横山会長	これにつきましては、私も関わらせていただいておりますが、お客様がお店に入る段階で、バリアフリーになっていることなどで反応が違うものですから、これは非常に効果があると思います。客足にどういった効果かというのを定量化するのは難しいのですが、少なくとも来客は増えた部分があるのは間違いのないところです。指標値は目標とした数を大幅に上回っておりますので、評価としては①の指標値を達成し効果があったとさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。 （異議なし） はい、ありがとうございます。ご意見などございますか。
佐々木委員	これは非常にニーズがあるものですね。店舗と住居が一体になっている需用者のところもありまして、今年は店舗部分をリフォームして、次の年は住宅部分をリフォームするといったことも出ています。これと、空き店舗のこと絡めてもう少し工夫すると、もっと良いものができるのではないかなと感じています。
横山会長	空き店舗の部分につきましては、「元気な起業家応援事業」にも空き店舗活用の家賃補助１０分の１０で行っていきまして、更に新規起業でなくても、空き店舗の活用をする場合の補助も別途用意されていますので、佐々木支店長がおっしゃったように、その部分と絡ませていければ、更に効果が出てくるのかなと思います。 それでは、１６番目お願いします。
森久保計画担当主査	はい、「商店街活性化事業」ということで、商店街で実施するイベントへの支援ということで、２８年度の実績は２２１万円、その支援件数は５件と設定していきまして、実績値も５件となっています。これを受けまして、指標値を達成し事業効果はあったとしています。⑧に支援の内容を記載していますが、町内の商店街で実施したお祭りへの支援を行いました。今後の方針では、事業内容を見直し発展させるなっていますが、これは商店街へのイベント支援というのは２８年度で終わりとなっていますので、今後

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	は別の形で支援を展開していくため、見直し発展させるとしています。 以上です。
横山会長	これについて、担当部署では指標を達成し効果があったとしています。 皆さまも同様の評価にさせていただきたいと思いますが、何かございますか。
村田委員	自分は新町の商店街に所属していて、新町ゆうゆう商店街としてお祭りなどを実施していましたが、28年度で補助金がなくなったので、仲町の商店街は今年のお祭りを止めてしまった。効果があったとしながら補助を止めてしまった理由は为什么呢。別なことをやるとしてはありますが、どういったことが商店街に関わってくるのかを教えて欲しい。
横山会長	28年度はここにあるとおりのイベントをやらせていただいて、それぞれお祭りとしての効果はありましたが、自身の仕事に関わっておりますが、考え方として、お祭りをやってそれが成功だったのかということと、それが商店街の活性化につながっているのかということがありまして、お祭りが賑わったことが効果があったということではなくて、商店街が潤ってそれで個店の売り上げが上がったことが評価につながるだろうということで、29年度はお祭りに対する支援ではなくて、商店街個々潤うように連合会として行うことを、商工会議所から役場に対して申し入れをした経緯がありました。そのため、今年は仲町ではお祭りは実施しませんが、個店の活性化並びに連合会の活性化に対して協力しますよという形になっていますので、個店の活性化、連合会の活性化が消費の向上にイコールになると思いますので、そのような形にさせていただきました。
村田委員	そうであるなら、⑥の「各イベントとも多くの町民が足を運び、販売促進へとつながった」という説明がおかしいのではないかと。
横山会長	そうですね、これはお祭りでの販売促進につながったという意味で、個店の販売促進という解釈ではありませんね。
村田委員	実際にお祭りを手伝っていても、お祭りに来たお客が個店に回るかといったら、そういう姿は見えないので、そういう解釈であるなら文章を変えないと、販売促進につながっているという効果があるのに何故止めるのかという疑問が出るので、変えた方が良くないのでしょうか。
森久保計画担当主査	はい、工夫させていただきます。
横山会長	他、意見ございますか。よろしいですか。では評価としては①ということではよろしいでしょうか。 (異議なし) はい、会議を始めてから2時間ほど経ちまして、ここで終わらせていただきます。次回の会議ですが、引き続き残りの部分をやらせていただきます。次回の日程調整を事前に配付させていただいておりますので、ここで次回の会議を決めたいと思います。
森久保計画担当主査	皆さまが合う日程は8月7日(月)になります。あまり間をおかずという形になりますが、よろしいでしょうか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	皆さまよろしいですか。 （異議なし） では、次回の会議は8月7日ということで、時間は午後2時でお願いします。
森久保計画担当主査	また開催案内の文書をすぐ出させていただきます。会場については確認してから文書にてお知らせします。
横山会長	はい、では皆さま日時はそれをお願いします。次回は基本戦略2，3，4を行っていきますのでよろしくお願いします。 それでは、本日は新たに委嘱を受け、また長時間の会議となり、皆さまお疲れ様でした。次回8月7日午後2時にまたお集まりいただきたいと思います。 本日はお疲れ様でした。 了